
第3回 三朝町議会定例会会議録（第6日）

平成31年3月11日（月曜日）

議事日程

平成31年3月11日 午後1時30分開議

（質 疑）

- 日程第1 議案第4号 平成31年度三朝町一般会計予算
- 日程第2 議案第5号 平成31年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第3 議案第6号 平成31年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 日程第4 議案第7号 平成31年度三朝町介護保険事業特別会計予算
- 日程第5 議案第8号 平成31年度三朝町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第6 議案第9号 平成31年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算
- 日程第7 議案第10号 平成31年度三朝町下水道事業特別会計予算
- 日程第8 議案第11号 平成31年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算
- 日程第9 議案第12号 平成31年度三朝町財産区特別会計予算
- 日程第10 議案第13号 平成31年度三朝町水道事業会計予算
- 日程第11 議案第14号 平成31年度三朝町国民宿舎事業会計予算
- 日程第12 議案第15号 三朝町地域公共交通協議会条例の設定について
- 日程第13 議案第16号 消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について
- 日程第14 議案第17号 三朝町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- 日程第15 議案第18号 三朝町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 日程第16 議案第19号 三朝町手数料条例の一部改正について
- 日程第17 議案第20号 三朝町立社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第18 議案第21号 三朝町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
- 日程第19 議案第22号 三朝町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第20 議案第23号 三朝町ふるさと健康むらの指定管理者の指定について

- 日程第21 議案第24号 三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について
- 日程第22 議案第25号 三朝町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について
- 日程第23 議案第26号 三朝温泉多目的駐車場の指定管理者の指定について
- 日程第24 議案第27号 第11次三朝町総合計画について
- 日程第25 議案第28号 三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- 日程第26 議案第29号 平成30年度三朝町一般会計補正予算（第10号）
- 日程第27 議案第30号 平成30年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第28 議案第31号 平成30年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第29 議案第32号 平成30年度三朝町水道事業会計補正予算（第3号）

本日の会議に付した事件

（質 疑）

- 日程第1 議案第4号 平成31年度三朝町一般会計予算
- 日程第2 議案第5号 平成31年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第3 議案第6号 平成31年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 日程第4 議案第7号 平成31年度三朝町介護保険事業特別会計予算
- 日程第5 議案第8号 平成31年度三朝町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第6 議案第9号 平成31年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算
- 日程第7 議案第10号 平成31年度三朝町下水道事業特別会計予算
- 日程第8 議案第11号 平成31年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算
- 日程第9 議案第12号 平成31年度三朝町財産区特別会計予算
- 日程第10 議案第13号 平成31年度三朝町水道事業会計予算
- 日程第11 議案第14号 平成31年度三朝町国民宿舎事業会計予算
- 日程第12 議案第15号 三朝町地域公共交通協議会条例の設定について
- 日程第13 議案第16号 消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について
- 日程第14 議案第17号 三朝町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- 日程第15 議案第18号 三朝町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 日程第16 議案第19号 三朝町手数料条例の一部改正について

- 日程第17 議案第20号 三朝町立社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第18 議案第21号 三朝町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
- 日程第19 議案第22号 三朝町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第20 議案第23号 三朝町ふるさと健康むらの指定管理者の指定について
- 日程第21 議案第24号 三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について
- 日程第22 議案第25号 三朝町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について
- 日程第23 議案第26号 三朝温泉多目的駐車場の指定管理者の指定について
- 日程第24 議案第27号 第11次三朝町総合計画について
- 日程第25 議案第28号 三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- 日程第26 議案第29号 平成30年度三朝町一般会計補正予算（第10号）
- 日程第27 議案第30号 平成30年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第28 議案第31号 平成30年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第29 議案第32号 平成30年度三朝町水道事業会計補正予算（第3号）

出席議員（12名）

1番 松原成利	2番 松原茂隆
3番 石田恭二	4番 吉田道明
5番 山口博	6番 清水成真
7番 藤井克孝	8番 遠藤勝太郎
9番 平井満博	10番 山田道治
11番 牧田武文	12番 福田茂樹

欠席議員（なし）

欠員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 小 椋 泰 志 副主幹 小 椋 智 子

説明のため出席した者の職氏名

町長	松浦弘幸	副町長	赤坂英樹
教育長	西田寛司	総務課長	椎名克秀
地域振興監	青木大雄	会計管理者	片岡里美
町民課長	山中恵子	健康福祉課長	新寛
建設水道課長	早苗睦巳	観光交流課長	大村真優美
総務課参事	河村明浩	教育総務課長	藤井和正
社会教育課長	佐々木敦宏	社会教育課参事	馬野真由美
農業委員会事務局長	大村哲也		

午後1時30分開議

○議長（福田 茂樹君） ただいまの出席議員は12名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日届け出のあった欠席者は、議員、当局ともございません。

以上、報告します。

本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりであります。

日程第1 議案第4号 から 日程第29 議案第32号

○議長（福田 茂樹君） お諮りいたします。議事の進行上、この際、日程を変更して、日程第1から日程第29までの29件の議案を一括議題といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 御異議なしと認めます。よって、この際、日程を変更して、日程第1から日程第29まで、すなわち議案第4号から議案第32号までの29件の議案を一括議題といたします。

これより質疑に入ります。質疑は、議事の進行上、1件ごとに議案の順を追ってすることといたします。

議案第4号、平成31年度三朝町一般会計予算について、本案に対する質疑は、ページの順を追って行います。

まず、6ページ、7ページ、第2表、債務負担行為、第3表、地方債について、質疑ありませ

んか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、歳入についての質疑を行います。

事項別明細書の歳入の町税、10ページから15ページ、農林水産費手数料まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、国庫支出金及び県支出金について、15ページから23ページ、民生費委託金まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、財産収入、23ページから30ページ、町債まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

続いて、歳出の議会費、31ページから42ページ、総務費、監査委員費まで、質疑ありませんか。

6番。

○議員（6番 清水 成真君） 予算説明資料では38ページです。予算書では36ページの防災専門員の設置費、ことし初めてということで非常に期待しているところでございます。

まず、この26万8,000円の報酬の額の根拠、それと、防災専門員さんができるわけですが、そんなの位置づけといいますかね、どのような形の位置づけになっているのか教えていただければと思います。

○議長（福田 茂樹君） 椎名総務課長。

○総務課長（椎名 克秀君） 防災専門員でございます。まず、報酬の根拠の部分でございます。予算額のうち、報酬部分につきましては23万1,600円で、社会保険料部分が3万7,200円でございます。報酬月額といたしますと1万9,300円でございます。

この根拠でございますが、根拠につきましては、非常勤の特別職ということでありまして、基本的には再任用の職員の短時間勤務者の設定としていただいております。なお、非常勤特別職でございますのでボーナスがございませんので、これを加味した月額設定となっております。

位置づけにつきましては、町職員としまして危機管理局に配置をする予定で、詳細につきましては設置規則で定めることとしております。以上でございます。

○議長（福田 茂樹君） 6 番。

○議員（6 番 清水 成真君） ちょっと私の質問の仕方が、ひょっとしたら悪かったのかなと思いますが、まず、報酬の根拠च्छゅうのは、町長が別に定めるといふうな形で今回、議案第 18 号に出ているわけでありまして、その別に定めるといふ部分の根拠ですね。言うなれば、きちんとした額が決定していない。言うなれば、1 年ごとに変わっていくといふ部分なのかといふことをまず聞きたかった。

それから、防災専門員の位置づけというのは、例えば町長が一番上のトップでおられるわけですが、防災専門員はどういう立場でおられるのかといふ部分です、位置づけというのは。

○議長（福田 茂樹君） 椎名総務課長。

○総務課長（椎名 克秀君） 失礼します。まず、報酬についてでございますが、報酬は毎年の予算に基づきまして定めるといふ形でございますので、条例の中では別に定めるといふ形となっております。

それから、立場でございますが、重複をいたすかもわかりませんが、危機管理局の非常勤の特別職という職員の立場でございます。

○議長（福田 茂樹君） 6 番。

○議員（6 番 清水 成真君） ちょっとやっぱりよくわからなかったんですが、まず報酬の部分については、予算によって町長が定めるといふことでありますので、予算が多ければ多くなるのかといふ部分なのかなといふような、ちょっと誤解を招くような感じかなあと。やはりきちんとした防災専門員という部分を、立場を明らかにして、やはりこれだけの報酬で、こういう勤務できちんとやっていただくといふような部分をやはりオープンにさせていただくのがいいのではないかと、そのように思っております。

それと、位置づけでありますけれども、これからいろんな部分が出てくると思います。防災の専門員ですから、いろんな知識を持たれた方が来られるのではないかと推察するわけですが、そういう部分において、やっぱり指導力といふか、指導者といふか、そういう部分がやっぱり十分に発揮できる位置づけでないといふのではないかと、いふことであります。ちょっともう一度お願いします。

○議長（福田 茂樹君） 椎名総務課長。

○総務課長（椎名 克秀君） 2 点でございます。報酬でございますが、私の説明が足りなかった

と思いますけれども、毎年変えるということが基本ではなくて、再任用の給与表、給与表というんでしょうか、給与を基準にしておりますので、人事院勧告等で変更があった場合にはそれが反映するという意味で御理解をいただければと思っております。

それから、指導的立場の中でということ、具体的なかわり方等につきましては、専門的な御意見が十分に取入れられるよう、体制をとってまいりたいと思っております。

○議長（福田 茂樹君） 4 番。

○議員（4 番 吉田 道明君） 36 ページの 11 番の防災諸費。上から 3 行目の防災行政無線管理一般経費 652 万 2,000 円の中に木地山の防災無線が、私は調べとらんですけど、村の人がおっしゃいますには全く入らないということで修理にかかるということを聞いておりますが、その中に修理費といいますか、工事費というものが入るとるわけですか。

○議長（福田 茂樹君） 河村総務課参事。

○総務課参事（河村 明浩君） 木地山の防災無線ですけど、今年度に 3 回ぐらい入りが悪いということがありました。その都度、この予算でも上げております保守の委託しております業者に点検をさせて、その都度対応しております。ただ、一番最新でございますけれども、先月に調査したところ、一部の機器で交換が必要だったということがありまして、既に交換をしております。この来年度の予算については、その修繕については入れておりません。以上です。

○議長（福田 茂樹君） 4 番。

○議員（4 番 吉田 道明君） なら、最近でも入らないということ聞いておりますが、もし今現在入らないということは、補正でも組んでも直すということで解釈してもいいでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 河村総務課参事。

○総務課参事（河村 明浩君） 現在は使用できるように復旧はしております。その原因によって補正が必要な故障でありましたら、そのときに検討させていただきたいと思っております。

○議長（福田 茂樹君） 5 番。

○議員（5 番 山口 博君） 予算書の 35 ページでございますけれども、バス運行対策補助金でございます。昨年に比べまして 400 万円の増になっております。運行経路等の表示には、特にそれでは変化がわからないんですけども、どのような理由でこの 400 万円がふえているのか御説明願いたい。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） バス運行対策費補助金の変更、増額についての御質問だと思います。

当初の予算では、前年の12月時点の実績を予算計上いたしまして、12月末の実績を翌年度のまた事業に上げていくものでございます。今年度の実績が当初に比べまして増額になっておるためにこういうことになっておりますが、5系統の路線でそれぞれ乗車密度が下がったということとで補助金の額が上がっております、それが予算に上がってきておるものでございます。御理解ください。

○議長（福田 茂樹君） 5番。

○議員（5番 山口 博君） 今の説明で、乗車密度が減ると高く払わなきゃならないという形ですか。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 乗っとられる方との関係でございますので、バスの運行に係る経費が収入との関係で下がってくれば補助金はふえるという関係でございますので、乗っとられる方が下がれば補助金はふえるということで御理解をください。

○議員（5番 山口 博君） はい、わかりました。

○議長（福田 茂樹君） 3番。

○議員（3番 石田 恭二君） 36ページの防災諸費の中のブロック塀の改修事業補助金ですけど、これは説明資料を見ると、道路に面した部分と書いてあるんですけど、これは道路以外の家屋の敷地内にブロック塀があった場合は、道路の部分だけなのか、全体なのか、教えてください。

○議長（福田 茂樹君） 河村総務課参事。

○総務課参事（河村 明浩君） 不特定多数の者が通行する道路ということで、私道も含めまして、全ての道路でございます。赤線等ですね、それも含まれますので、民地の境界のブロック塀については対象にはなりませんので。失礼します。

○議長（福田 茂樹君） 3番。

○議員（3番 石田 恭二君） 赤線とか、そういうのはあると言われるんですけど、一部、自分の知ってる家屋で、道路に面した部分と川に面した部分にブロック塀がある場合、これは道路だけということよろしいですか。

○議長（福田 茂樹君） 河村総務課参事。

○総務課参事（河村 明浩君） 道路部分だけが対象でございます。

○議長（福田 茂樹君） 2番。

○議員（2番 松原 茂隆君） 32ページ、中ほどに三朝町職員元気な町づくり。この事業は昨年からだと思いますが、まず、説明資料のほうで見ますと、自主研修旅費と書いてあるんですね。

この自主研修というの内容、それから昨年から始まって1年間、ことしも予算つけてあるんですが、その自主研修によっての成果というのは出てますかどうか、その点をお願いします。

○議長（福田 茂樹君） 椎名総務課長。

○総務課長（椎名 克秀君） 元気な町づくり自主研修事業についてでございます。自主研修の内容ということでございます。

内容につきましては、町が抱える課題につきまして、自発的にその解決策を模索するために調査研究を行うという事業目的のもとに、平成30年度から始めさせていただいた事業でございます。

この事業によります成果部分でございますが、目的に沿いまして研修をしていくわけですが、問題意識をまず持って、その解決に向けて研修を深めますこととあわせまして、研修先との調整等、全てを自分で調整等をして行っていかなければならないということから、事業目的でございます職員のレベルアップにつながっていると考えておるところでございます。

また、今年度につきましては、3つの研修がございました。1つは学校施設づくり、そして2つ目が廃校舎利活用検討、そして3つ目が高齢化、人口減少に伴う課題の解決策の模索ということで、2人から3人のグループで3グループが研修をしております。

研修が終わりましてから、職員を集めまして報告会を開催しておりまして、この点につきましても研修を深めることにつながっているというふうに考えておるところでございます。よろしくをお願いします。

○議長（福田 茂樹君） 8番。

○議員（8番 遠藤勝太郎君） 35ページ、諸費の中のAED設置事業。委員会で質疑をしましたが、答弁してもらっておりません。ちょっと質問させていただきます。

これリース料と思うわけですが、ことし消費税が10月から10%に上がるということもあります。これ一律の10%の計算で計上してあるんですけど、これ、年度末補正をかけるっちゃうことになると思うけど、リース料っちゃうのは変わらんわけですから初めから8%と10%を分けて計上されるのが普通じゃないかと思うけど、リース料っちゃうのはみんな今回、10%で計算してあるでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 河村総務課参事。

○総務課参事（河村 明浩君） 予算の見積もりでございますけれど、今回、一月のリース料に全て10%を掛けて積算をしておりました。全体の事業費の中で消耗品等もございますので、調整をさせていただきたいと思っております。

- 議長（福田 茂樹君） 聞こえてない、今の最後が。
- 議員（8番 遠藤勝太郎君） 全体の何だって。
- 総務課参事（河村 明浩君） 10%で1年間分を計上しておりました。以上です。
- 議長（福田 茂樹君） 遠藤議員は、分けるべきじゃないのという質問をしとんなる、従来と。しとりましたじゃなくて、分けなくてはいけないんじゃないですかという質問。
- 総務課参事（河村 明浩君） 御指摘のとおり、そういう、10月から変わりますので、9月までは8%ですべきでございました。以上です。
- 議員（8番 遠藤勝太郎君） 何だかぼそぼそって、最後の。
- 議長（福田 茂樹君） 8番。
- 議員（8番 遠藤勝太郎君） 要するに、リース料で契約だから、だけ10月までは8%、それから10月以降は10%っちゃう契約をされるのが普通でないかって聞いとるわけだんな。全部10%にすると、減額補正、戻してもらふことにならへんのですか、リース料って。うそかな。
- 議長（福田 茂樹君） 河村総務課参事。
- 総務課参事（河村 明浩君） 契約でございますけれど、契約は5年間で契約をしております。しかし、支払いは毎月支払うようにしております、消費税が変わるまでは8%で支払っていく、請求があって支払っていくということになります。
- 議長（福田 茂樹君） 8番。
- 議員（8番 遠藤勝太郎君） ますますおかしいでないか。5年間って、ならいつからいつまでの5年間ですか、今5年間の契約。それなら8%で5年間の、今までの経過があるだったら、5年間だったら8%というのが普通でないか、これで言うと。あなたが言う答弁なら。10%で計算してある、ことしからの契約を変えて5年間ということなんですか、これ。
- 議長（福田 茂樹君） 契約時は8%でするんじゃないの、5年間はという。
- 議員（8番 遠藤勝太郎君） 言っとる意味わからんかな。
- 議長（福田 茂樹君） 河村総務課参事。
- 総務課参事（河村 明浩君） 契約時は、消費税は8%ということで契約しておりますので、支払いのときに10%になれば、おのずと10%で、その月からということになります。
- 議員（8番 遠藤勝太郎君） いけんね、これは。全然いけんがな。なら、この資料、何だい、これ。説明のあれが、何だ、これ。該当資料は。
- 議長（福田 茂樹君） もとへ。
- 総務課参事（河村 明浩君） 失礼します。税抜き金額プラス消費税ということで契約をして

おりますので、消費税が……。

○議員（８番 遠藤勝太郎君） ５年間の初めはいつだいな、だけえ、なら。

○総務課参事（河村 明浩君） ５年間の契約の中の話ですが……。

○議員（８番 遠藤勝太郎君） 何で。違うって。５年間はいつから始まるかって言うのだがな。

○議長（福田 茂樹君） ちょっと聞いてください。

しばらく休憩いたします。

午後１時５１分休憩

.....

午後１時５１分再開

○議長（福田 茂樹君） 再開いたします。

河村総務課参事。

○総務課参事（河村 明浩君） AEDのリース料の契約でございますけれど、５つの契約で分かれております。最初に契約したものが２７年の９月から３２年の９月までということで契約をしております。そのほか、最新のものと３０年の２月から３５年の２月までということでございます。

○議員（８番 遠藤勝太郎君） なら８％であるべきでないかいや。

○議長（福田 茂樹君） 消費税抜きという表現をもう一回しときならんと。抜きの契約だっていうのが伝わってない、遠藤議員に。

○議員（８番 遠藤勝太郎君） 全然話にならんがな。

○議長（福田 茂樹君） 河村総務課参事。

○総務課参事（河村 明浩君） 契約は、税抜きで契約をしております、消費税はプラスになるということでございます。

○議員（８番 遠藤勝太郎君） もう一回ないかな。

○議長（福田 茂樹君） ありません。

１番。

○議員（１番 松原 成利君） 予算書の３７ページ、地域振興対策費の地域共同施設維持管理支援事業。説明資料ですと１５４ページですが、この地域共同施設維持管理支援事業の中身ですが、補助の条件、補助率とか、それと対象者はどのような人か。それと、具体的な計画はありますか。お願いします。

○議長（福田 茂樹君） 早苗建設水道課長。

○建設水道課長（早苗 睦巳君） この補助事業でございますけれども、自治体、それと集落が管理されております生活道路、赤線等の維持とか補修とかをする際に、集落が自分たちの力を出してそういうのを補修するというときに、原材料となりますコンクリートでありますとか砕石とか、それから機械の借り上げということを支援するというものでございます。一集落、年間10万円を上限として計画をしております。以上です。

○議員（1番 松原 成利君） 今のところは。

○建設水道課長（早苗 睦巳君） まだ申し込みはありません。

○議長（福田 茂樹君） 1番、よろしいですか。

○議員（1番 松原 成利君） はい。

○議長（福田 茂樹君） 5番。

○議員（5番 山口 博君） 37ページのキラリと光る町づくりの支援交付金の件ですけども、これは去年に比べますと大幅な減額になっておりまして、また、さらには地域協議会等の支援事業に対する経過措置等とか書いてありまして、何か制度が変わるような雰囲気のこと、総合計画等も含めて、いろいろ手直しがあるようですけども、その具体の中身がちょっとわかりにくいので説明願いたい。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 三朝町キラリと光る町づくり支援交付金の関係、総合計画との関係で事業に見直しがあったのかという御質問だと思います。

まず、キラリと光る町づくり支援交付金でございますけれども、この中、3本でできておりまして、このうち持続的な地域協議会支援事業というものがございました。この事業を、今の37ページの上から2つ目ですが、三朝町地域協議会パワーアップ交付金と組み合わせをしまして事業を見直すということでございまして、地域協議会の関係を一本化し、キラリと光る交付金につきましては、今年度、まだ継続事業がございまして、それについてのみの予算を計上したために、220万の減額になっておるといのはそういう趣旨でございます。

それで、地域協議会のパワーアップ交付金につきましては、31年度が各協議会でスタートしておりますことから、交付金の見直しを進める中で、32年度の1月、次期の会計から反映させていくことで準備をしていこうとするものでございます。よろしく申し上げます。

○議長（福田 茂樹君） 2番。

○議員（2番 松原 茂隆君） 先ほど清水議員の質問とダブることはないようにしたいと思います。ですが、防災専門員設置費。36ページで、この防災専門員というのは当然のことながら専門知識、

相当な専門知識がないと務まる職ではないと思っています。この268万というものは、年間の多分予算だと思います、人件費だと思いますが、4月から採用予定があるのかどうか。

○議長（福田 茂樹君） 椎名総務課長。

○総務課長（椎名 克秀君） いつからということだと思いますが、4月から採用するようになりたいというふうに考えておるところでございます。

○議長（福田 茂樹君） 2番。

○議員（2番 松原 茂隆君） 当然のことながら、地震、それから集中豪雨等あるわけですから、できるだけ早くというか、4月からは必ずやっていただきたいと。要望です。よろしく。

○議長（福田 茂樹君） 6番。

○議員（6番 清水 成真君） 37ページ、地域協議会のパワーアップ交付金であります。先ほど地域振興監のほうから見直しを含めたものをするというようなことが、ちょっと聞いたんですが、平成31年度は200万円で、もう始まっているので交付すると。32年度については、この200万円の交付金を見直していきたいんだというような発言ではなかったのかなあと思っています。

そこで、この「やってみよう」「つながろう」「つくりだそう」という部分のことをことしやるかやらないかということで評価をされるというようなことでよろしいですか。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 評価をするということではなくて、総合計画のまちづくりをやっているという趣旨の中で、地域協議会の活動をより活発化にするためには、どういう体制がいいのかということを検討してまいりたいと、交付金について検討してまいりたいということでございます。

○議長（福田 茂樹君） 6番。

○議員（6番 清水 成真君） 今でも各地域協議会、さまざまな事業をやっておりまして、それぞれが独自でいろんなことを考えてやっております。余り町のほうからこのような事業をやってほしいとか、こういうことをやってもらいたいとかというようなことを言ってしまうと、地域の特性だとか、地域の、何ていうかな、やりたいことだとか、そういうことがひょっとすればそがれてしまうんじゃないかというような気がしておって、例えば来年度、この200万円の交付金がそれぞれの地域で変わっていくというようなことも考えておられるということでしょうか、一律ではなく。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 一律かどうかというのは、まだ各協議会ともこれから、現場がありますので検討してまいります。町から事業を、押しつけるという言い方はちょっと語弊があるかもしれませんが、これを提案するというのも大事だとは思いますが、自主的な活動ということを念頭に置きながら、より使っていただきやすい支援を考えるということが基本でございます。

○議長（福田 茂樹君） 6番。

○議員（6番 清水 成眞君） その意味はわかったんですが、より使っていただきたいということで、例えば今だったら200万円で、自分で自主的な活動をしていくと。次年度、来年度ですね、例えば町のこの部分とはちょっとかけ離れた部分のことがしたいという部分がもし出てきた場合、地域協議会としては、予算がやっぱりないといけないわけですね。その部分との整合性といえますか、そういうことはどう考えておられるか。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 従来、その部分につきましては、キラリと光る町づくり交付金の中で持続的な地域協議会支援事業という枠を持っておりました。これが2つに分かれておりますので申請についてしづらいとかということもありましたので、これを構想としては一体化といえますか、積み上げたものにして申請をいただくというようなことを今、念頭に置いて検討しるところでございます。

○議長（福田 茂樹君） 9番。

○議員（9番 平井 満博君） 36ページの諸費の一番上の山陰縦貫、それから超高速鉄道整備事業ということで1万5,000円。これは負担金だとは思いますが、どこに負担して、どのような活動をしとるか、ちょっとお聞かせ願いたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） この負担金でございますけれども、平成25年の6月に設立されました山陰縦貫・超高速鉄道整備促進市町村会議というものがございまして、そちらの会議への負担金でございます。整備に向けた取り組みでありますとか経済効果などを調査研究するための費用ということで、加盟自治体が負担しておるものでございます。

○議長（福田 茂樹君） 9番。

○議員（9番 平井 満博君） その市町村というのは、中部なのか県全域なのか。それと、国に要望という形の中で活動をされとるのか。年がたっても実現しそうな、超高速みたいな運用の文言があるということの中で、どんな活動をこれから展開していくのか、そこもちょっ

とお聞きしたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 自治体の範囲でございますけれども、山陰という言葉がついておりますが、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県などなど山陰にまたがるものでございまして、広域的に事業を取り組んでおるものでございます。

○議長（福田 茂樹君） 7番。

○議員（7番 藤井 克孝君） 先ほど遠藤議員さんのほうから説明のほうをお聞きしたんですけど、予算書の35ページの中ほどよりちょっと上の部分のAEDの設置事業、リース額280万3,000円の部分ですけど、これは先ほど説明がありましたけど、この追加資料の部分では10%という計算で追加資料等出てますけど、10月以降に消費税10%、それまでの部分で10%で予算でされるのか、また、そこからまた10月以降10%でされるのか、その8%と10%の月のあれだんね、計算でいうと。そこら辺のことはどのように。

10%で、リース料が含まれた金額で出てますけど、その部分のちょっと説明をお願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） 河村総務課参事。

○総務課参事（河村 明浩君） まず、1年間を10%で計算をしておりました。9月までは消費税を除いた契約に現在の8%で支払いを毎月行います。10月からは消費税が変わった額で支払うということになりますので、よろしく申し上げます。

○議長（福田 茂樹君） 7番。

○議員（7番 藤井 克孝君） いや、済みません、最後のほうがちょっと何か聞き取れないんですけど、ここの、前回配付されとるこの10%ですと計算されとる金額で出てるんですけど、この部分がちょっとお聞きしたいと思います。なら、資料の間違いということ、ならよろしいでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 河村総務課参事。

○総務課参事（河村 明浩君） その資料は誤りでございます。9月までは8パーということに。

○議長（福田 茂樹君） しばらく休憩いたします。

午後2時08分休憩

午後2時09分再開

○議長（福田 茂樹君） 再開いたします。

7 番。

○議員（7 番 藤井 克孝君） 34 ページの中ほどから下段のほうですけど、地域おこし協力隊費。これが昨年、30 年度はまた入ってないんですけど、ことしは、31 年度は地域おこし協力隊でまた予算を組んでますけど、どのような方向性で計画をされてるのか、お伺いいたします。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 地域おこし協力隊（企画）に関するものだと思います。ここでの地域おこし協力隊は、町の魅力を発信するための、PR するための情報発信を主に目的とする仕事を提案しながら、町の情報発信を通じて三朝町の生き生きとした姿を示していくということで考えておるものでございます。よろしく申し上げます。

○議長（福田 茂樹君） 5 番。

○議員（5 番 山口 博君） 38 ページの、これは移住定住促進事業でございますけども、これは昨年に比べますと270 万円増ということで、多分これは1 件ずつが想定されてふやした金額だろうと思っておりますけども、昨年の実績がどのようなであって、それに反映したものになっているのか、その辺を聞かせてもらいたい。

○議長（福田 茂樹君） 大村観光交流課長。

○観光交流課長（大村真優美君） 移住定住促進事業についての増額になっている理由ということ、実績ですね。

平成29 年度から若年子育て世帯移住定住促進補助金として、住宅金融公庫で資金を借りて家を建てられる場合に、若い子育て世代を支援するまちについては融資割合が低くなるという制度と連携して、40 歳未満で小学生以下の子供がいる世帯を対象にしておりました。30 年度の実績としては1 件です。それで、本町への移住希望者の実態との不一致によって利用が伸びないということがありますので、制度内容を改正して、年齢を45 歳未満、子供要件は中学生以下の子について加算するというようにして、より使いやすい制度とすることで移住者の増加につなげようとするものです。住宅金融公庫との連携制度も引き続いて活用することができます。

それとあわせて、若い世代の町外への転出を抑える定住促進も重要なことから、新しく定住についても支援することとしています。

○議長（福田 茂樹君） 5 番。

○議員（5 番 山口 博君） 最終的なことしの予定件数は何件にしとられますか。

○議長（福田 茂樹君） 大村観光交流課長。

○観光交流課長（大村真優美君） 移住を3 件、定住を3 件と見積もっています。

○議長（福田 茂樹君） 1 番。

○議員（1 番 松原 成利君） 3 7 ページ、文化ホールの施設改修費でございますが、もしかしたら 4 2 ページの民生費のほうでお聞きするべきなのかもわかりませんが、ハートフル駐車場と、それから屋根の設置について、何か計画をしておくべきではないかと思うんですが、考えはありますか。

○議長（福田 茂樹君） 馬野社会教育課参事。

○社会教育課参事（馬野真由美君） 松原議員の質問にお答えします。

予算は計上しておりません。

○議長（福田 茂樹君） すべきじゃないですかという話だった。

○社会教育課参事（馬野真由美君） はい、検討いたします。急げば補正で対応いたします。よろしく申し上げます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

1 0 番。

○議員（10 番 山田 道治君） 3 4 ページ、企画費の学校跡地利用検討委員会は 2 0 名程度だというふうに伺っていますが、1 人年間 1 万円、回数として二、三回ですけども、これで足りるのかと、どういう委員会を想定しておられるのかお聞きしたい。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 学校跡地問題の検討委員会についてでございます。

2 0 名ということで、構成としましては、地域の代表でありますとか各種団体の方、また観光関係の方、また企業誘致とかの関係で県のそういったセクションの方も入れてやっていきたいというふうに思っております。

経費の積算が 3 回分ぐらいだけど足るのかということでございます。基本的な方針の検討を加える分には 3 回ということで計上しておりますが、表の審議会、表といいますか、審議会に加えて、地域の意見とかはまた別の手法を用いて聞いていきたいと思っております、それを連携させながら審議会で方針をまとめるということで進めてまいりたいと思っております。状況によって、不足が見込まれた場合は、また補正も検討したいと思っております。

○議長（福田 茂樹君） 1 0 番。

○議員（10 番 山田 道治君） やっぱり検討される中で結論出されるプロセスになると、やっぱり現場のほうに行ったりしてお聞きすることがあると思います。2 0 万どころじゃ、もっと倍も 3 倍もかかってもいいんじゃないかと思っておりますので、しっかり中身を検討していただきたいと

思います。以上。

○議長（福田 茂樹君） 答弁はいいですか。

○議員（10番 山田 道治君） いいです。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、民生費、42ページから48ページまで、児童手当費まで、質疑ありませんか。

5番。

○議員（5番 山口 博君） 42ページの民生費のところでございますけども、福祉のまちづくり推進事業補助金ということで新しく設けられた項目でございますけども、これは説明書によりますと、旅館のトイレ、通路のバリアフリー化等と書いてありますが、これを設定された、いわゆる根拠といいますか、要望等があるの反映なのか、その辺はどうなっているんでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 早苗建設水道課長。

○建設水道課長（早苗 睦巳君） この補助金につきましては、鳥取県の福祉のまちづくり推進事業補助金を活用しておりまして、1つの旅館等から要望があって、それを、バリアフリー化を進めたいということは要望がありましたので、それに向けて調整した補助金でございます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、衛生費、48ページから51ページ、じんかい処理費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、農林水産費、51ページから57ページ、大規模林道費まで、質疑ありませんか。

1番。

○議員（1番 松原 成利君） 51ページ、農業委員会費。農地中間管理集積支援事業というのがありますが、これと、1枚はぐってもらいまして53ページに同じようなもので農地中間管理事業というのとありますが、これはそれぞれどういったことをするものでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 大村農業委員会局長。

○農業委員会事務局長（大村 哲也君） 松原議員の農地中間管理集積支援事業の部分と、53ページの部分、それぞれどういったような内容かという御質問についてお答えいたします。

初めの農地中間管理集積支援事業といいますのは、国から県を通じて交付されます中間管理機構の農地の利用集積に基づく事業、これは主に人件費で、臨時職員さんの1名の人件費が主なものになっております。町内の利用集積の取りまとめをやっておりますので、その資料の調製等を行っていただいております。

それからもう1個、53ページの中間管理機構の特例事業というのでございますが、こちらについては、中間管理の利用集積をするときに、国の事業制度に基づいて農地が売買等契約されるときに、農業委員会のほうにその事務が委任されることとなります。発生したときに受託することとなりますので、その経費を予定して上げさせていただいてるところでございます。

○議長（福田 茂樹君） 1番。

○議員（1番 松原 成利君） 続きまして……。

○議長（福田 茂樹君） いや、続きましてじゃなしに、今のはいいですか。

○議員（1番 松原 成利君） 今の分はそれで。

○議長（福田 茂樹君） 今のはいいですか。

○議員（1番 松原 成利君） よろしいです。

○議長（福田 茂樹君） じゃあ、ちょっと1回座ってください。ごめんなさい。

8番。

○議員（8番 遠藤勝太郎君） 56ページで、林道管理費550万5,000円。今は年間通して1回か2回の草刈りをされとるということだと思っておりますけれども、今、林道が非常に荒れております。イノシシ等によってのり面の土や石が落ちたり、舗装の上とか側溝に石がたまっております。こういうのの管理はされる見込みはないのかどうか聞きたい。

それからもう1点。それから大型林道のへりの草刈りというのがなかなかしてないように見受けられるわけですが、これは年間1回の草刈りがされとるのかどうか。

○議長（福田 茂樹君） 早苗建設水道課長。

○建設水道課長（早苗 睦巳君） 林道の管理ですけど、側溝等に詰まった土砂ですけども、これについては計画的に順次路線を、土砂撤去を行っております、今年度も小鹿線等の土砂撤去は行っております。

それと、大規模林道につきましては、一部、してないところもございますけども、一応基本的には年1回、草刈りをお願いしております。以上でございます。

○議長（福田 茂樹君） 8番。

○議員（8番 遠藤勝太郎君） その順序というのは、通告順というか、申し込みがあった順番に

されるということかな。もしくは、それならうちも大分前からしるところだけど、いっかな手が入らんということで、ずっと見とるわけですけども、今、すごい、どこの林道も荒れとるといふ現状ですわな。それで、この500万ぐらいの金で、さあそれが賄えるのかな、全部一遍にせんっちゃうことならそうかもしれませんけども、側溝の場合、建設業者に言うと、側溝をつけたのがそもそも間違いだってというようなことを言われる人もあるけど、もう側溝の機能を全然果たしとらん現状が見受けられるわけですよ。それでやっぱり、見て回って優先順位も決めてもらわんと、激しいところから先してもらわんと、なかなか管理、草刈りといっても大変だと思いますし、その辺もちょっと見ていただきたい。

それから、大型林道の場合は、その集落、関係集落から要望がなかったら刈らんということで認識すればよろしいでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 早苗建設水道課長。

○建設水道課長（早苗 睦巳君） そういうわけではございませんので、状況を見ながらうちのほうも管理をさせていただいております。済みません。

○議長（福田 茂樹君） あと、優先順位どうのこうの。

○建設水道課長（早苗 睦巳君） 優先順位ですか。こちらのほうである程度見まして、今年度は伊豆線とか、あと小鹿線、それから小河内線に向かって土砂撤去をやっております。以上でございます。

○議長（福田 茂樹君） 8番。

○議員（8番 遠藤勝太郎君） 大型林道については刈ってないところもあるだかって、さっき答弁があっただけど、やっぱりそれは困る、刈ってない集落のところの大型林道持っとるところの人は困るわけで、やっぱり年1回、1回っちゃうのはきちんとしてもらいたいというのをちょっと要望しときます。

○議長（福田 茂樹君） 答弁は。

○議員（8番 遠藤勝太郎君） 答弁。

○議長（福田 茂樹君） 早苗建設水道課長。

○建設水道課長（早苗 睦巳君） 限られた予算ですが、適正に管理していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） 1番。

○議員（1番 松原 成利君） 52ページ、農業振興費です。説明資料でいきますと105ページですが、三朝スタイルの担い手基準による独自の担い手確保対策というのがあります。この三

朝スタイルの独自の担い手確保というのは、実際にはどういった計画をされておりますか。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 三朝スタイルの担い手基準とはどういうことかという御質問だと思います。本町の水田農業を考えましたときに、規模が零細でありますとか中山間地であるということが要件の中にございまして、通常の平野部の担い手基準、例えば国、県が定めておるようなものでございますが、こういったものになかなか合致しないということがございまして、規模の問題ですと、経営規模の問題ですとか、そういったものを例えば下限を下げたり集落で引き受けていただける方を拾ったりしながら、町の水田農業の担い手ということで位置づけて、協議会を通じてみんなでやっていこうとするものでございます。よろしく申し上げます。

○議長（福田 茂樹君） 5 番。

○議員（5 番 山口 博君） 5 3 ページの農地費のところですけども、農業農村整備事業費。これは昨年と比べて3 倍増になってますけども、説明資料に記載がないので、何をされる事業なのかかわからるので、説明願いたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 早苗建設水道課長。

○建設水道課長（早苗 睦巳君） 本年度は3 集落から要望を受けております。水路改修を行うように県の補助を活用する予定にしております。

○議長（福田 茂樹君） よろしいですか。

○議員（5 番 山口 博君） はい、いいです。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

1 番。

○議員（1 番 松原 成利君） 5 2 ページの、同じく農業振興費のところですが、新規就農総合支援事業という中に親元就農交付金ということで上がっておりますが、この親元就農の場合の営農規模といえますか、そういったことの条件を教えてください。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 新規就農者の総合支援事業の中での親元就農に関する規模的な根拠ということでございます。

親御さんの規模といえますか、親御さんが町が認定します認定農業者であるということが一つの条件になってございまして、認定農業者の経営規模というのは、面積的な要件というのはきちんとしたものは、きちんとというか、数字で定めたものはございませんけれども、所得とか、目標とする所得、2 5 0 万だったと思いますが、そういったものを目指して経営に取り組むというよ

うなことで担い手の位置づけにされた親御さんということになるろうかと思います。

○議長（福田 茂樹君） よろしいですか。

○議員（1番 松原 成利君） はい。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

1番。

○議員（1番 松原 成利君） 55ページの多目的展示施設管理費でございますが、これみささ美術館のことですね。あの美術館に所蔵されておりますものっていうのは、現在どういうことになっておりますか。

○議長（福田 茂樹君） どこの項目ですか、それ。

○議員（1番 松原 成利君） 農林水産業費の16番です。55ページ。

○議長（福田 茂樹君） これ管理費のことですけど。ちょっと質問が違うと思います。

○議員（1番 松原 成利君） これはどこで質問したらいいかいなと大分探すけど。

○議長（福田 茂樹君） 最後のその他か。その他のところかどこかで。

○議員（1番 松原 成利君） その他ね、わかりました。じゃあその他のほうに回します。

○議長（福田 茂樹君） 別の案件。

○議員（1番 松原 成利君） 別の、はい。

○議長（福田 茂樹君） 1番。

○議員（1番 松原 成利君） 55ページの一番下です。林業振興費のナラ枯れ被害対策費ですが、説明では114ページです。このナラ枯れ対策は、具体的には今、どういう方法でやられて、その効果についてお聞きします。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） ナラ枯れ被害対策の手法と効果についてということでございます。

まず、手法でございますけれども、樹幹注入と申しますけれども、虫の入った木に対しましてドリルで穴をあけまして、それに薬剤を注入して殺虫、殺菌を行おうとするものでございます。

効果があるかということでございます。なかなか効果が上がって壊滅状態ということにはなっておりません。東からどンドン西へということでございます。鳥取県では緊急防除地域といいますが、そういう地域を限定をしまして、三朝町から西になりますけれども、大山に向けての駆除に懸命に取り組んでおるところでございます。御理解をいただきたいと思っております。

○議長（福田 茂樹君） よろしいですか。

1番。

- 議員（1番 松原 成利君） ということは、目に見えた効果はないということでしょうか。
- 議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。
- 地域振興監（青木 大雄君） 特効的な効果は出ておりませんが、努力によって効果につながっていると思っております。
- 議長（福田 茂樹君） 1番。
- 議員（1番 松原 成利君） それで、一本一本対応していくということだと思っておりますが、これについて、もう無駄だったらやめてしまったらどうかと思うのですが、いかがでしょうか。
- 議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。
- 地域振興監（青木 大雄君） 決して無駄だとは思っておりませんが、ほうっておきますと、心配しているのは大山ということだと思っておりますので、1本でも多く駆除をしながらとめていくという考え方でございます。
- 議長（福田 茂樹君） ほかに。
1番。
- 議員（1番 松原 成利君） 56ページです。上から5行目ですが、森林ICT推進事業というのがありますが、ICTと森林というのがどうもちょっとぴんときませんですけども、どういったことなのか、内容をわかりやすくお願いします。
- 議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。
- 地域振興監（青木 大雄君） 森林ICT推進事業という事業でございます。ICT、インターネットとか、いわゆるコンピューターの技術を使って森林を、今までは森林は図面と台帳でございますけれども、これをデータ化しまして、いわゆる森林の見える化と言っておりますけれども、そこに例えば木の情報ですとか、それから山の傾斜の情報ですとか、そういったものを一緒に入れて、例えば林道の開設ですとか樹種の分析ですとか、そういったものをやりながら森林の施業の合理化といいますか、それにつなげようとするものでございます。
- 議員（1番 松原 成利君） はい、わかりました。
- 議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

- 議長（福田 茂樹君） しばらく休憩いたします。再開を2時45分といたします。

午後2時34分休憩

午後2時47分再開

○議長（福田 茂樹君） それでは、再開いたします。

次に、商工費 57 ページから 59 ページ、公園等管理費まで、質疑ありませんか。

5 番。

○議員（5 番 山口 博君） 57 ページの商工振興費のところでございますけども、三朝町空き店舗活性支援補助金、昨年と同額が設定されておりますけども、実績を反映した形になってるでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 大村観光交流課長。

○観光交流課長（大村真優美君） 空き店舗の補助金は、改装を 50 万円、新設を 100 万円で見積もりをしております。平成 30 年は新規に 2 件、2 年目が 2 件ございました。新年度についても同額で計上しておりますけれど、2 年目のほうが昨年より少し金額が落ちておりますので、その分を減額して見ております。

○議員（5 番 山口 博君） はい、わかりました。

○議長（福田 茂樹君） 1 番。

○議員（1 番 松原 成利君） 58 ページ、中ほどの観光客誘致対策推進費と、その下のほうにずっとありますと、三朝温泉誘客促進事業と、2 つ似たようなものがありまして、説明資料では 150 ページになりますが、この内容は、ちょっとわかりにくいんですけども、上のほうは、観光客誘致対策推進費のほうは、これは人件費なのでしょうか。それと、下の三朝温泉誘客促進事業、この中にあります映画「恋谷橋」10 周年記念事業補助金、具体的には何をされるのでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 大村観光交流課長。

○観光交流課長（大村真優美君） 1 つ目の観光客誘致対策推進費ですが、こちらについては、通常のイベント運営のほかに、トップセールス、それから 8 つ下にあります温泉を活用した健康づくり全国大会を予定しておりますので、その打ち合わせに係る旅費、それから取材等に係る体験料などを計上しているものでございます。

それから、三朝温泉誘客促進事業ですけれど、映画「恋谷橋」の 10 周年記念事業は、主題歌を歌われました小椋佳さんのコンサートの誘致を予定しておられます。

○議長（福田 茂樹君） 1 番。

○議員（1 番 松原 成利君） 小椋佳さんですか。ぜひ頑張ってくださいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 5 番。

○議員（5 番 山口 博君） 57 ページで、商工振興費ですけども、三朝町商店等魅力向上支

援補助金ということで500万円。これは新たな設定になっておりますけども、これは要望等があつての反映なのか、その辺はどうなってるでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 大村観光交流課長。

○観光交流課長（大村真優美君） 具体的に要望があつたということではありません。こちらのほうでこういうものをしていただいて、町並みをきれいにさせていただこうということで計画しました。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

1番。

○議員（1番 松原 成利君） 59ページ、一番上です。公園等管理費ですが、公園施設等維持管理費っていうのと、都市公園施設維持管理費という2種類があるんですが、それぞれこれはどういった役割のものでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂副町長。

○副町長（赤坂 英樹君） 公園等施設維持管理費と都市公園施設の維持管理費の違いでございます。

都市公園の施設に関しては、都市公園法に基づく公園でございますので、具体的には三徳川緑地公園と三朝高原の2つがこれに該当するということでございます。その維持管理費を計上しております。

その他の公園施設等、これはキューリー広場ですとか桜づつみ等、その他の公園等について計上したものでございます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

5番。

○議員（5番 山口 博君） 58ページの、これは温泉を活用した健康づくり全国大会開催費という形で100万が計上されておりますけども、具体の中身を、どのようなことを考えてこれを設定しておられるのか御説明願いたい。

○議長（福田 茂樹君） 大村観光交流課長。

○観光交流課長（大村真優美君） 温泉を活用した健康づくり全国大会ですけれど、全国の温泉を活用した温泉地から首長等を招いて、健康づくりに向けた全国大会を開催をするように予定しております。

○議長（福田 茂樹君） 5番。

○議員（5番 山口 博君） ちょっと今、余りにも漠然とした話なので、例えばどういう人た

ちっていうか、専門家を呼ぶのか、例えばどういう関係、ただ首長を呼んでわいわいやってもなかなか問題というか、発展的なものにならないと思いますけども、具体的にどのような人たちを想定して、例えばどういう立場の人というか、首長以外にはどういう人たちを考えておられるか。

○議長（福田 茂樹君） 大村観光交流課長。

○観光交流課長（大村真優美君） 具体的な、どういう方を呼ぶっていうのは、まだこれからですけど、講演等を予定しているので、そういうことについては、温泉を活用したことについて特化したような内容のものを話していただきたいなというふうに今は考えています。

○議長（福田 茂樹君） 5番。

○議員（5番 山口 博君） 多くの人たちを呼んでくるわけですから、実のある大会になるように、担当としては頑張っていたきたいと思います。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、土木費、59ページから62ページ、被災者住宅再建等費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、消防費、62ページから64ページ、原子力防災対策費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、教育費、64ページから74ページ、学校給食費まで、質疑ありませんか。

6番。

○議員（6番 清水 成真君） 予算書は65ページであります。予算説明資料は182ページの教育ICT戦略策定事業でございます。説明資料によると、教育ICT機器の活用促進に向けた教員の行動計画表作成、授業実践等の研究を通じて活用力や指導力向上に努めるとともに、三朝町の教育ICTアクションプランを策定するというふうになっておりますが、まず、この教育ICT戦略策定のアクションプランについては、新学習指導要領の項目の中に入った事業なのか、こういうことをやらなきゃいけないというような事業なのかということと、それと、教育ICTのこの活用に向けた教員の行動計画案というものがありますが、これについてはどなたが策定されるのか。さらには、三朝町教育ICTアクションプランというものが計画案とも別には策定されると思うんですが、そのICTアクションプランは誰が策定されるのか、ちょっと教えていた

だけですか。

○議長（福田 茂樹君） 藤井教育総務課長。

○教育総務課長（藤井 和正君） ただいま教育 I C T 戦略策定費の中の三朝町教育 I C T アクションプラン、仮称でありますけれども、そのことについての御質問だと思います。

まず、学習指導要領の中に位置づけられているかということですが、位置づけられてはいません。また、行動計画についてはどのような方がつくるかということと、もう一つ、アクションプランの策定者ということですが、専門的知識を有した方への委託をして策定していただくように考えております。

○議長（福田 茂樹君） 6 番。

○議員（6 番 清水 成真君） その教員の行動計画案も、両方ともが多分恐らく専門的知識を持ったプロの方についていうふうなことだったと思いますけども、例えば専門的な知識を持たれている方がきちんとその学校の状況を把握して、そして教員の行動もきちんと把握した中で、この行動計画みたいなものが本当につくれるのかどうか。さらには、アクションプランですけども、アクションプランの中には、どのようなことがそのプランの中に入っていくのか、そのところをちょっと教えていただければなど。

○議長（福田 茂樹君） 藤井教育総務課長。

○教育総務課長（藤井 和正君） 教員の行動計画の中ということもそうですが、予定としましては、毎月 1 回程度、学校に出向いて教職員方の I C T 機器の活用の状況を把握し、また、その状況によって実践の指導等も含めながら、現在の状況を把握してのアクションプランを作成するというようにしているところでございます。

○議長（福田 茂樹君） 6 番。

○議員（6 番 清水 成真君） ちょっと 3 回目なので、ちょっとよくわからなかったんですが、中学校と小学校とももちろんあるわけでありまして。今、教員の数が、多分恐らく大分、相当数な数の方々がおられるわけでありましてけども、その方々について、情報機器、アイパッドか何かわかりませんが、それを使った学習ですね、その学習をその方が、こういうふうに使ったらいいよ、こういうふうに指導したらいいよっていうようなことまでその方がされるのか、それで、それをもとにアクションプランをつくられて、今後の計画をつくられるという解釈でよろしいんですか。

○議長（福田 茂樹君） 藤井教育総務課長。

○教育総務課長（藤井 和正君） 指導していただきながら、学校の先生とも協議を重ねてアクシ

コンプランを策定していくというふうにしておりますので、ただ単に専門家が見て指導するというものではなくて、一緒になって取り組むようにしております。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

2 番。

○議員（2 番 松原 茂隆君） 71 ページ、上段のほうに世界遺産登録推進調査経費。金額的には28万4,000円なんですが、まず、世界遺産の登録については、もう10数年来行ってきてるというふうに私は思ってます、徳田教育長のころからですね。調査費がことしもついとるわけですが、これは世界遺産に登録される可能性というものがあって調査を進めてるんですが、その可能性としてはあるんですか、本当に。そこを聞きたい。

○議長（福田 茂樹君） 佐々木社会教育課長。

○社会教育課長（佐々木敦宏君） 可能性が何%ということは申し上げできませんけれど、ただいま三徳山の価値を高めるために発掘、そして調査を行っており、新たな魅力を見つけるために調査研究を続けておるところで、実際に新たな発見も出てきています。

なお、発掘におきまして、その結果を今月17日13時から、研究の成果発表会ということで文化ホールで開催いたしますので、ぜひその調査結果の報告を議員の皆さんもお聞きいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） 2 番。

○議員（2 番 松原 茂隆君） 確かに調査をされて、そういう新たな発見があるかもわからんですね。それは毎年毎年、ずうっと積み重ねて今まで来てます。そうすると、先ほど何%っていうことは、何十%ということと言えないということを言われましたけど、ただ、こういう調査費をずうっとだらだらだらだら持って行って、この間、日本遺産になりましたよね。日本遺産には日本で一番最初になったわけですけど、世界遺産の可能性って私は非常に低いと思ってるんですね。ということは、この調査費をこの項目でするというのがまずおかしいと。ほかの項目で三徳山としての調査をすればいいというふうに、私はそこを切りかえてやればどうかなと。もしそれで可能性として、例えばこれから10年たったらこういうことになるというようなことがあって、世界遺産に登録が可能だということになれば話は別ですけど、可能性はほぼゼロに近いと私は思ってますので、その辺のことをちょっとお願いします。

○議長（福田 茂樹君） 佐々木社会教育課長。

○社会教育課長（佐々木敦宏君） 調査につきましても、松原議員がおっしゃるとおり、ずるずるやっけてもというところもございまして、また管理保存計画等をつくるに当たっても、また

来年の発掘によって新たなものが出るかもしれませんし、その辺の保存活用計画等につきましても、議員の皆さんに改めて協議いたしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（福田 茂樹君） いいですか。

ほかに。

1 番。

○議員（1 番 松原 成利君） 委員会でもお聞きしまして、その前にもちょっと個別にもお願いをしたり、お願いはいけんですけども、しとりますが、6 7 ページ、教育振興費でございますが、児童の、このたび統合になりました三朝町立三朝小学校の新入児童の制服の支給につきまして、このたび委員会のほうでもお聞きしましたが、対象にならなかったと、予算化できなかったということでした。私は、子育てに手厚い三朝町ですとか、それから子供の人数も非常に少なく、毎年、もう 5 0 人ほどという状況の中で、子供から見ますと……。

○議長（福田 茂樹君） 松原議員、予算のことを聞いていただきたい。予算に上がってる項目のことを。

○議員（1 番 松原 成利君） はい。それで、学校教育振興一般経費ということで、それでは。

○議長（福田 茂樹君） 3 2 7 万 8, 0 0 0 円。

○議員（1 番 松原 成利君） はい。この中に児童の制服の支給を盛り込んでいただけないかということでお聞きしたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） いただけないかという表現は。

○議員（1 番 松原 成利君） 盛り込むことはできませんか。

○議長（福田 茂樹君） 表現として何か。

しばらく休憩します。

午後 3 時 0 5 分休憩

.....

午後 3 時 0 5 分再開

○議長（福田 茂樹君） 再開いたします。

藤井教育総務課長。

○教育総務課長（藤井 和正君） 現在、小学校教育振興一般経費につきましては、教育活動で必要となる校外活動等の経費を計上させていただいております。

○議長（福田 茂樹君） 1 番。

○議員（1 番 松原 成利君） その他全般でもう一回お聞きします。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

6 番。

○議員（6 番 清水 成真君） 予算書は67ページであります。予算説明資料は187ページの一番上の段の小学校遠距離通学補助金900万円ですが、今回、定期券購入者は全額補助という形で、非常に、恐らく保護者の方々は喜んでおられるのではないかと思います。

同じく、これは児童ですけど、生徒であります中学校の遠距離通学費も同じく予算は立てておられます、280万円。小学校だけがなぜ定期券購入が全額補助、中学校は定期券購入はされなかったのかということをお聞きしたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 藤井教育総務課長。

○教育総務課長（藤井 和正君） ただいま小学校遠距離通学費補助金について、中学校との整合性ということでございました。

小学校につきましては、統合により新たに通学に係る費用の負担増となる御家庭がございますので、統合に係る部分としまして定期券を希望される方には全額支援ということで予算を計上させていただいているところでございます。

○議長（福田 茂樹君） 中学校に対して上がってないと。

○教育総務課長（藤井 和正君） 中学校につきましては、今までと同じ、2キロ部分に相当する部分を控除して支援をするということでの予算計上をさせていただいております。

○議長（福田 茂樹君） 6 番。

○議員（6 番 清水 成真君） ちょっとそれがおかしいなって感じるのか感じないのかっていう問題があるんですけども、私としては、新たにということで予算計上された。でも、児童生徒は同じ、学校に通うわけですよね、中学校にあっても小学校にあっても。小学校が全額補助、中学校は今までどおりやと。新たに小学校が全額補助になったんだったら、中学校も同じように全額補助すべきでないかなと、そういう感覚なんですけど、そういう感覚ではないということですか。

○議長（福田 茂樹君） 藤井教育総務課長。

○教育総務課長（藤井 和正君） 小学校については統合に係る部分ということで、中学校とは考え方を変えております。

○議長（福田 茂樹君） 6 番。

○議員（6 番 清水 成真君） やっぱり義務教育でありますので、同じく義務教育という立場から、やはり生徒一人一人、児童一人一人、大切な子供たちであります。やはり今までどおりなのか、新しくなったから、じゃあこっちだけは補助しますよと、こっちは今までどおりですよと。

それはちょっと、義務教育という部分では、ちょっとおかしいなという感覚を私は持っているんですけども、その点について、教育委員会等々も同じような形だったんでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 藤井教育総務課長。

○教育総務課長（藤井 和正君） 教育委員会の中でもというお話もありましたけれども、協議の中では、小学校がやはり統合するということでの、その部分での支援というようなことでの方向性を決めさせていただいて、今回、小学校について予算計上をさせていただいているものがございます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、災害復旧費、74ページから76ページ、予備費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、給与費明細書、77ページから最後まで、質疑ありませんか。

3番。

○議員（3番 石田 恭二君） 77ページ、特別職のところです。今年度は前年に比べて1,200万高くなっています。これの細部説明が初日あるかと思いましたが、この金額の詳細をお願いします。

○議長（福田 茂樹君） 何ページのどこの部分、もう一回。

○議員（3番 石田 恭二君） 77ページ、特別職の給与明細のところです。

○議長（福田 茂樹君） 椎名総務課長。

○総務課長（椎名 克秀君） 1,200万でございます。その他の部分で1,200万ふえているわけでございますけれども、大きく、主な要因としましては、選挙が31年度、2回ございまして、4月と7月でございますが、投票立会人、管理者等の費用でございます。

○議長（福田 茂樹君） 3番。

○議員（3番 石田 恭二君） これは人数的にも200人ぐらい、252人ですか、ふえてる。これはそういうものを全部含めてのことですね、数的には。

○議長（福田 茂樹君） 椎名総務課長。

○総務課長（椎名 克秀君） 人数のことでございますが、当日あるいは期日前を含めると、そのような数になっております。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

最後に、その他全般について、質疑ありませんか。

1 番。

○議員（1 番 松原 成利君） まず最初ですが、みささ美術館の所蔵品の、現在はどうなっておりますか。活用の予定とか、その辺についても教えてください。

○議長（福田 茂樹君） 大村観光交流課長。

○観光交流課長（大村真優美君） 美術館の収蔵品ですけど、今はバイオリン美術館の展示にはなかなかそぐわないということで、収蔵管理をしていただいております。外部貸し出しについては対応をいただいております。今後は収蔵作品とのコラボ企画等も考えていらっしゃるようですし、先になりますけれど、オープン予定の県立美術館と連携した活用等についても検討しております。

○議長（福田 茂樹君） 1 番。

○議員（1 番 松原 成利君） せっかくの貴重品ですので、宝の持ち腐れにならないように、それで、例えば収入が上がるような方法の貸し出しとかを検討していただきたいと思います。

○議長（福田 茂樹君） 答弁要りますか。

○議員（1 番 松原 成利君） いいです。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

1 番。

○議員（1 番 松原 成利君） 先ほどの児童の制服支給の件でもう一度伺いたいと思いますが、これから将来、児童が非常に少なくなっております。その中で、三朝町が子育ての先進だということから考えますと、これから先、この新入児童たちが一生懸命勉強しようと、いいものをももらったということで勉強できるということから考えますと、これを予算化して、50万円か60万円ぐらいなことだとも思いますが、そういうことで検討していただく余地はありませんでしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 藤井教育総務課長。

○教育総務課長（藤井 和正君） 新しい小学校1年生にも制服等の支給をとのお話でありましたけれども、教育委員会の中でも議論はありましたが、統合することによって費用負担がふえる現在の在校生についてのみの支援ということで、教育委員会事務局としては考えて予算化を、平

成30年度補正でさせていただいているところでございます。以上です。

○議長（福田 茂樹君） 1番。

○議員（1番 松原 成利君） 私は、そういう意味で言っているのではなくて、祝いとして、三朝町の子育ての、手厚いということの一環として予算化したら、非常によい効果が生まれるのではないかということをお聞きしております、その点、いかがでしょうか。

町長に聞いてもいいですか、直接。

○議長（福田 茂樹君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 祝いにもいろいろありますけど、一般質問のときにも山口議員から同じような趣旨の御質問もいただきました。何でもかんでも祝いということではなくて、総合的にどういうふうにしたら子供たちのためになるかと。学校が新しくなるから制服をとという考えではどうかなというふうに思います。

直接は関係ないですけど、昔、議員のどなたかも行かれたことあると思うんですけど、ラマルー・レ・バンに行ったときに、小学校から中学校に上がるときに、英語の辞書を記念品に児童に、ラマルーの町は配られとったような、そういう思い出があります。やっぱりそういうふうにならなくてつながっていくという、そんな考え方も、今言われたんでちょっと思い出しましたんですけど、話は戻って、全体的にどういうふうにしたら子供たちのいい環境ができるかということをもっと考えていきたいと思っています。

○議長（福田 茂樹君） 1番。

○議員（1番 松原 成利君） そういうお答えですけども、タイミングとしまして、ことし、これをもうやめたと、実現できませんでしたとなると、2年目から、じゃあ皆さん、児童に、新入生にはお祝いで制服を出しましょうということにはなりません。もうこのタイミングで考えていただくしかないのです、私はこのことを申し上げておまして、

50万とか60

万っていうのは、何ていいますかね、本当にささやかなプレゼントということで考えていただけるのではないかなと思うんですが、それを聞いて、終わります。

○議長（福田 茂樹君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） いや、そういう問題では私はないと思います。子供一人一人を保護者の方を含めて町民みんなが支えていくという気持ちが大事だと思いますので、私はそういう考え方はどうも、自分の思いとしては相通ずるところはございません。

○議長（福田 茂樹君） ここで藤井教育総務課長の訂正がありますので。

○教育総務課長（藤井 和正君） 先ほどお答えの中で制服というお答えをさせていただきましたが、小学校に制服はございませんで、体操服ということでよろしく願いいたします。

○議員（1番 松原 成利君） 訂正します。体操服です。

○議長（福田 茂樹君） 8番。

○議員（8番 遠藤勝太郎君） 先ほどAEDのリース料のことで聞きましたけれども、町の予算の中にはいろいろとリースの物件がようけあると思うのですが、これはやっぱり統一してリース料っちゅうのは計上されとるのでしょうか。さっき10%があったり8%があったりっていうことだけれども、財政課長、これどういうことになっとるんですか。課によって違うですか。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂副町長。

○副町長（赤坂 英樹君） リース料の消費税の取り扱いでございますが、一般的には消費税は別の扱いといいますか、税抜き金額プラス消費税という形ですので、当然法律が変わって消費税が上がれば、その月から消費税が上がるということでございますので、今回の場合ですと、10月から10%で計上するのが正しいということでございます。

○議長（福田 茂樹君） 8番。

○議員（8番 遠藤勝太郎君） 計画時点でそういうことに、業者との申し合わせっちゅうか、そんなはやってもらっとるんですか。例えば今は8%だけど、10月以降は10%にするっちゅうことで契約は成り立っとるんですか。

○議長（福田 茂樹君） 赤坂副町長。

○副町長（赤坂 英樹君） 通常の契約、一般的な契約の場合ですけれども、例えば月額が1万円としますと、1万円プラス消費税及び地方消費税の額ということでございますので、消費税が上がれば自動的に上がるという契約が大体一般的でございます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、以上で議案第4号、平成31年度三朝町一般会計予算に関する質疑を終結します。

議案第5号、平成31年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第6号、平成31年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算について、質疑ありません

か。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 7 号、平成 3 1 年度三朝町介護保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 8 号、平成 3 1 年度三朝町簡易水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 9 号、平成 3 1 年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 0 号、平成 3 1 年度三朝町下水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 1 号、平成 3 1 年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 2 号、平成 3 1 年度三朝町財産区特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 3 号、平成 3 1 年度三朝町水道事業会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 4 号、平成 3 1 年度三朝町国民宿舎事業会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 5 号、三朝町地域公共交通協議会条例の設定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第16号、消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第17号、三朝町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第18号、三朝町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

6番。

○議員（6番 清水 成真君） 先ほども防災官のことを聞いたんでありますが、非常に期待しておるところでございます。非常勤という形でこのようなきちんとした額が出ないという部分について、やはり今後、きちんとした内容で、どのような形をとられるかわかりませんが、その内容と職務、それから位置づけ等々、きちんとしていただいた部分で予算を出していただければと思います。以上です。ちょっと誰が答弁されるかわからんけど。

○議長（福田 茂樹君） 松浦町長。

○町長（松浦 弘幸君） 防災専門員、初めての取り組みでございまして、防災の専門知識を必要とする事例がふえてきました。職員のほうも人事異動があったりをして、なかなかそういう専門的な職員を短期間のうちにつくるとするのは難しいところがございます。今回の場合は、再任用の対象になる方をお願いをしたいということで制度をつくっておりますが、これから短期的ではなくて継続をしていきたいというふうに思っております。その場合に、例えて言えば自衛隊だとか、中途のですね、50前ぐらいの管理職を派遣するという制度もあったり、いろんな組織によって制度があると思いますので、そういうことになれば、清水議員言われましたように、それだけの対応をするような仕組みでないといけないと思っておりますので、おっしゃるとおり、これからその体制に合ったような形で、そういう防災対策を、防災の仕組みをつくっていききたいと思います。以上です。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第19号、三朝町手数料条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第20号、三朝町立社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第21号、三朝町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第22号、三朝町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第23号、三朝町ふるさと健康むらの指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第24号、三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第25号、三朝町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第26号、三朝温泉多目的駐車場の指定管理者の指定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第27号、第11次三朝町総合計画について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第28号、三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第29号、平成30年度三朝町一般会計補正予算（第10号）について、質疑ありませんか。

8番。

○議員（8番 遠藤勝太郎君） 26ページ、三朝町すこやか乳幼児家庭保育応援事業。1,170万円の予算計上してありまして、404万7,000円の減額。これ大体1人当たり3万円で、大体30人見当あるというような話の中において、これを減額した理由は何でしょうか。

○議長（福田 茂樹君） 山中町民課長。

○町民課長（山中 恵子君） この減額は実績によるものでして、当初51名組んでいたものが実績で35名となったので、それによる減額です。

○議長（福田 茂樹君） 8番。

○議員（8番 遠藤勝太郎君） 減額より増額にならへんのですか、ふえたら。30人ぐらいの予定ちゅうことで、35人になったら400万も減るのですか、これで。ふえるほうでなしに減るほうなんですか。

○議長（福田 茂樹君） 山中町民課長。

○町民課長（山中 恵子君） 当初は51名組んでいたのが35名になったので、それで440万減額しました。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

6番。

○議員（6番 清水 成真君） 17ページの中ほどにあります児童手当費が154万ほど不用額として載っていますが、これもやはり何か人数の変更等々で減額になったのか、何か原因があって減額になったのか、教えていただければと思います。

○議長（福田 茂樹君） 山中町民課長。

○町民課長（山中 恵子君） これも実績によるもので、当初組んでいた数よりも100名近く減額になったので、それによる減額です。

○議長（福田 茂樹君） 6番。

○議員（6番 清水 成真君） 当初の人数と、100名減になったということでもありますけども、

当初の人数というのは、去年の4月に、4月というか、算定した人数と、児童でありますから小学生以下の子供たちだと思いますが、恐らく、そうすると出生率というか、出生の人数が恐らく違って来たという部分でよろしいですかね。

○議長（福田 茂樹君） 山中町民課長。

○町民課長（山中 恵子君） 40人ぐらいの出生を見込んでいたんですけど、それが10名ぐらい減額したことによるものと、あと、転入転出によるもので、転出のほうが多かったということでございます。

○議長（福田 茂樹君） 6番。

○議員（6番 清水 成眞君） こういう形で、やはり予算を見込んでいの中で、どんどん人口も減っていく、児童も生まれてこないという現実があるわけでありまして。やはりそういう部分も含めて、町長、今年度、総合計画を立てられるわけですが、いろんな面を鑑みていただいて、予算も考えていただければと思います。以上です。

○議長（福田 茂樹君） 8番。

○議員（8番 遠藤勝太郎君） 19ページのナラ枯れ被害対策費。あ、間違えました。それと29ページのナラ枯れ対策費があるわけですが、収入、県収入で197万8,000円で、94万2,000円減額されて、103万6,000円ということになると思うわけですが、支出のほうで197万8,000円から引いて、103万6,000円から減額の69万2,000円ということは、実質的には300万ほどしか実績がないというふうな計算になるだけ、間違いはないですかね。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） ナラ枯れ被害対策費についてでございます。

当初の事業費が197万8,000円を予定してまして、県の内示額に基づきまして、今回、減額ということで128万6,000円の事業を予定しておるところでございます。

○議長（福田 茂樹君） しばらく休憩します。

午後3時35分休憩

.....

午後3時36分再開

○議長（福田 茂樹君） 再開いたします。

8番、訂正があるようですので。

○議員（8番 遠藤勝太郎君） 19ページの農林水産業県補助金の中のナラ枯れ被害対策費が、当初予算は197万8,000円組んでありました。それが94万2,000円の減額をされておる

ということで、103万6,000円の補助金しかないではないかという、まずは1点目。

それで、支出のほうで、当初予算197万8,000円組んであったものが、減額の69万2,000円あるから……。

○議長（福田 茂樹君） それ何ページですか。その部分のページ数。

○議員（8番 遠藤勝太郎君） これは29ページ。それで、収入の減額分でいくと103万6,000円になると。それで、その中から96万2,000円の減額を引くと、実質の事業費が33万4,000円になるでないかという質問をしとるわけです。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 県の交付決定といいますか、県の内示が、103万6,000円が、そこまでだということで決まりまして、現場を精査する中で拾っていたものが県の内示額では足らなかったということで、その部分を整理する中で一般財源として残しての事業費でございます。

○議長（福田 茂樹君） 8番。

○議員（8番 遠藤勝太郎君） それならいいんですけど、69万2,000円減額されとるわけですね、支出の部で。ということは、これだけナラ枯れ被害が増加傾向にありながら、予算を残して事業をしまうというのはおかしいでないかということで質問させてもらっとるわけですね、私は。減っとるなら減額でいいかしらんけど、ふえとる状況にあって減額補正っちゃうのはおかしいでないかという考えですけど、いかがですか。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 申し上げます。197万8,000円というのが当初予算でありまして、それで進めてといいますか、事業枠を持っておりましたが、県の交付決定が10分の10でございますけれども、この事業枠が103万6,000円でございます、実際に事業計画の中で拾ってたものは103万6,000円ではおさまりませんで、今回、金額を整理する中で、町費、一般財源を25万円、なかったものを入れまして、予定していたものをするようにしたということでございます。

○議長（福田 茂樹君） 8番。

○議員（8番 遠藤勝太郎君） ということは、106万1,000円ということになったのですか。25万増額。ああ、128万6,000円ということで、なったものが、それが補正で69万2,000円残った、減額補正だから使わなんだっちゃうことでしょうか。足らんでどうこう言われて、補正で減額補正っておかしいでないかと。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 県の支出金が確定しましたので、まずその金額をはめますと、全体の事業費に対して不足する分を町費で、これはプラスで入れたということでございますけれども、御理解をいただけますでしょうか。

○議員（８番 遠藤勝太郎君） その後の答弁して。そこが２５万プラスしたまではわかったわいな。それでこれ、減額補正は何だかというのは。

○議長（福田 茂樹君） しばらく休憩いたします。

午後３時４２分休憩

.....

午後３時４４分再開

○議長（福田 茂樹君） 再開いたします。

赤坂副町長。

○副町長（赤坂 英樹君） 済みません、ナラ枯れの事業費、先ほど来、地域振興監のほうから説明しておりますが、１９７万８,０００円という歳出の予算に対して、県補助金も同額の１９７万８,０００円がその財源として見てあったということございまして、ですので、先ほどありました、２９ページのほうが歳出のほうで、その財源が同額で県補助金も充当してあったということでございます。

歳出のほうは６９万２,０００円を減額しておりますし、その財源となる県補助金は９４万２,０００円を減額してるということで、その差の２５万円というのが一般財源をプラスしたといえますか、一般財源で事業を行ったということになっておりまして、結果的に事業費としては１２８万６,０００円で、それに対する県の補助金が１０３万６,０００円という結果になったということでございます。

○議員（８番 遠藤勝太郎君） 一遍、なら補正し忘れたっちゃうか、しとんならんけえ、こうなっとるんじゃないの。県の収入が減額されたっちゃう補正が一遍してありゃもんなら。

○議長（福田 茂樹君） 今回確定したんじゃないの。

○副町長（赤坂 英樹君） 今回確定したので、同時に減額をしてるということでございます。

○議員（８番 遠藤勝太郎君） なら、予算は全部使ったっちゃうことですか。

○議長（福田 茂樹君） 進行いたします。

○議員（８番 遠藤勝太郎君） そこまで聞いたで、俺。議長。その答弁ないけど。立ったら終わりだって言ったがな。質問したが、それ。

○議長（福田 茂樹君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 最終的に128万6,000円を事業費として事業に取り組んでおるといふこととございます。

○議長（福田 茂樹君） ほかに。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第30号、平成30年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第31号、平成30年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第2号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第32号、平成30年度三朝町水道事業会計補正予算（第3号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題としております29件の議案のうち、議案第4号、平成31年度三朝町一般会計予算、議案第29号、平成30年度三朝町一般会計補正予算（第10号）については、5人の委員をもって構成する一般会計予算審査特別委員会により審査することとなっており、特別委員の選任は議長が指名することとなっておりますので、総務教育常任委員会から山口博議員、松原成利議員、産業民生常任委員会から石田恭二議員、松原茂隆議員、副議長、清水成真議員、以上5名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました5名の諸君を特別委員に選任することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 御異議なしと認めます。よって、総務教育常任委員会から山口博議員、松原成利議員、産業民生常任委員会から石田恭二議員、松原茂隆議員、副議長、清水成真議員、以上5名の諸君を選任いたします。

お諮りいたします。ただいま付託いたしました議案以外の27件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれの所管の常任委員会に付託いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（福田 茂樹君） 御異議なしと認めます。よって、議案第4号及び議案第29号を除く27件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会にその審査を付託いたします。

○議長（福田 茂樹君） 以上で本日の日程は全て終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。御苦労さまでした。

午後3時48分散会
